

環境報告

環境会計

日野自動車では、環境省の環境会計ガイドラインをもとに、環境保全コストと効果を集計しており、費用対効果を定量的に把握することで、効果的な環境投資と継続的な環境負荷の低減に役立っています。

2013年度の環境保全コストは、総額で279億円（売上高比1.6%）で前年比103%でした。一方、環境保全による経済効果は、景気回復を背景にリサイクルによる事業収入の増加と積極的な省エネ投資効果により、23億円と前年比133%となりました。

環境保全コスト

■ 環境コスト

(単位：百万円)

環境保全コスト		13年度実績		12年度実績		前年との差の主な理由 (前年差が20%以上の場合に記入)
分類	主な取り組みの内容	投資額	費用	投資額	費用	
(1) 事業エリア内コスト		606	771	234	768	
内訳	① 公害防止コスト	99	361	62	361	漏洩未然防止および水濁法順法対応
	② 地球環境保全コスト	423	21	155	23	省エネ案件増
	③ 資源循環コスト	83	389	17	383	羽村工場-廃液減容設備の導入
(2) 上・下流コスト	環境負荷を減らすための追加的コスト	0	82	0	109	リサイクル運用費用減
(3) 管理活動コスト	EMS維持運用、情報公開	0	424	0	396	
(4) 研究開発コスト	環境負荷抑制のための研究開発費	0	25,974	0	24,374	
(5) 社会活動コスト	事業所外の自然保護、緑化、美化等の環境改善コスト	0	5	0	6	
(6) 環境損傷対応コスト		0	0	0	0	
合計		606	27,256	234	25,652	—

※環境対応とそれ以外の目的のものとの区別が難しい設備投資などについては、環境対応であることが明確に把握できる項目のみを計上しています

環境保全効果

■ (1) 環境保全対策に伴う経済効果

(単位：百万円)

	効果の内容	13年度	12年度	前年との差の主な理由 (前年差が20%以上の場合に記入)
収益	リサイクルによる事業収入	2,076	1,593	増産、およびリサイクル単価の市況変動
	その他 ( )			
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	148	76	省エネ案件増
	省資源またはリサイクル活動による廃棄物処理費の節減	28	20	羽村工場-廃液減容設備の導入
	その他 ( )			
合計		2,253	1,689	—

※環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています

## ■ (2) 物量効果

項目	13年度	12年度
CO <sub>2</sub> 低減 [ton-CO <sub>2</sub> ]	4,835	1,821
廃棄物低減 [ton]	573	170

※環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています